

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ロジレス東条Ⅱ 新築工事	階数	地上2F
建設地	兵庫県加東市南山6丁目9番4	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	2,000 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年07月 予定	評価の実施日	2020年07月01日
敷地面積	32,876 m <sup>2</sup>	作成者	稲葉 伸夫
建築面積	14,094 m <sup>2</sup>	確認日	2020年08月08日
延床面積	28,065 m <sup>2</sup>	確認者	伊藤 貴俊



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質**

**Q のスコア = 2.9**

**Q1 室内環境**

Q1のスコア = 2.6

**Q2 サービス性能**

Q2のスコア = 3.2

**Q3 室外環境(敷地内)**

Q3のスコア = 3.0

**LR 環境負荷低減性**

**LR のスコア = 3.7**

**LR1 エネルギー**

LR1のスコア = 4.4

**LR2 資源・マテリアル**

LR2のスコア = 3.4

**LR3 敷地外環境**

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。	<b>Q2 サービス性能</b> 事務室の天井高2.9m以上。 床:タイルカーペット - 20年、内 壁:ビニルクロス - 20年、 天 井:PB - 30年。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI <sub>m</sub> = 0.76。 [BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.51。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器など) などを用いている。 LGS使用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が、一般的な建物(参照値) に対して75%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される